

# AA日本ニュースレター

私書箱

〒100-91  
東京都中央郵便局  
私書箱 916



AA日本ゼネラル・サービス・オフィス  
〒171 東京都豊島区池袋 2-23-3 橘ビル 9F

TEL03-3590-5377  
FAX03-3590-5419



## No.40

## 沖縄で燃え上がったAAの灯



沖縄で初めてのパブリックミーティングが6月6・7日の両日実施された。

これは第4回GSMで提言され、1993年度JSOの年度予算に組み込まれた、全国各地域の支援計画としてのものである。

実施に先立ってJSOで、2月頃より計画の内容の検討を始めた。現地沖縄のメンバーとの連絡も頻繁になり、そのうえ病院関係者より期待の電話が入り、準備行動に一層熱がこもった。

なぜならば、沖縄にAAの灯がともってから、今年で約7年になり、AAの灯だけは地道に守られてきたものの、過去においては全くこのような催しは行われたことがなかったからである。メンバーも、個人個人では、他の地域のメンバーとの交信や交流等もあったものの、グループ体となってことに向かうのは初めての経験。

JSOとしては、プログラムの作成、検討、グループとの打ち合わせ、又、過去に蓄積した関係機関資料や、個人から寄せられる情報の収集を行った。

沖縄グループでも会場の交渉手配、下見、打ち合わせ、現地での関係機関、専門家等、AAのよき理解者の資料収集に努め、これをもとにJSOでは4月下旬に一回目のお知らせとして、約140通の案内とプログラムを発送した。時間の経過とともに沖縄グループの一致も強くなったようで、関係機関との情報交換、収集も細部にわたり、最終的には、5月下旬に再度JSOから、BOX916の6月号を同封して2度目の案内を200通以上発送し、案内状は合計で300を越える数に至った。

しかし不安は拭えない。沖縄の人々のAAへの関心度や、当方に手落ちがないか、また天候等を憂慮しながら、前日の5時にメンバーが集合、ポスターやプログラムの掲示、書籍の展示、会場の用意等に快い汗を流しながら、心のうちでは2日間に一人でも多くの参

加があるよう、メンバー全員で祈った。

当日の朝になってメンバーの方々から、沖縄時間というものがあると知らされて不安は増したが、プログラムの時間どおりにオープン。開始早々は25人前後の人ではあったが、会場は静けさのなかにも緊張感が張り詰めた熱意に、休憩の時間をとるのも惜しまれるほどであった。内容的には、沖縄でのAAグループの発展的増加、ミーティング場の増設等の要望が参加者から強く伝わってきた。

現実今日一日、飲まないでより良い生き方を模索している沖縄のメンバーを始め、広島や山口から、そして沖縄から一番近い鹿児島から駆けつけてくれたメンバーたちを目の前にして、自助グループとしてのAAの必要性や重要性を、出席していただいた多くの方々に再認識していただいたとの感を強め、2日目への期待もつないだ。

2日目は初日同様の熱気のなかにも、どことなく和んだ雰囲気が出てきたが、私たちを見つめる参加者の眼差しに強い期待が感じられた。

最後のプログラムでは、多数の方々からメンバーへAAへの導入経過の経験の分かち合いが集中した感があった。この点に分かち合いが集中するのは、多くの方々のAAに対する関心の表れだと思われる。関係者の方々はじめ、家族や、本人ではとおぼしき人達の協力で盛り上がり、小さなお祈りでプログラムを終了することができ、最終的には40人以上の資料配布の結果となった。

終了後、早速棚卸しをして具体的に今後の参考にすべく集まってみたが、全員の眼が輝き、ほほが紅潮して興奮が納まらず、余韻を堪能していた。

沖縄グループの数はそれほど多くないメンバーが、他の地域のメンバーの力添えを得て、全員で一つの催し物を達成できて、沖縄グループとメンバーの方々の今後の大きな力となり、AAのプログラムの素晴らしさを分かち合え、大きく一歩前進するとともに、多数の理解者を得たと実感した。

JSOでは、この経験を基に今年度中にもう一地域のパブリックミーティングを計画している。

JSO 小宮山

## ……第一回沖縄ワークショップの感激……

去る6月5日、6日、念願のイベントが開催されて、われわれ沖縄グループは大変感激している次第です。この日本の南の端、沖縄に、AAのメッセージが届いて7年ぐらいたちます。その間、いろいろありましたが、なんとかAAの小さな火を大事に灯しながらミーティングを続けてきました。

なんとといっても沖縄ならではの特性や人々のゆったりとした気性等、いろいろあり、偏見や誤解を招いていました。また、グループのメッセージ不足等、なかなかグループが確立せず、はがゆく思う日々が続いていました。

そうこうしている内に、去年の秋頃、S病院のソーシャルワーカーさんから病院メッセージのことで相談を受け、メンバー一人一人が真剣に考え、どうしたら一番いいかJSOに相談したところ、セミナーをやったらどうだとううことになり、みんなやる気で燃えました。でも初めてのイベントなので、どうしたら人が集まるか、何人くらい来てくれるのか、会場はどのへんがいいか、ああでもない、こうやった方がいい、こんなのはどうだ。そうこうしているうちに月日だけが過ぎていきました。

これがちょうどいいきっかけで、4月からグループでもビジネス・ミーティングを月に1回やることができ、役割を決めて、JSOとの連絡係を決めたら、話はとんとん拍子で進み、月日の決定、会場の決定、あとの案内状の発送やプログラムの作成等はJSOにお任せ、と、去年の秋からぐずぐずしていたのが、たった2カ月で決まってしまうました。本当にアル中のやることはなんでも早いと、つくづく感じさせられました。(JSOは大変だったでしょうけど)。

わたしたち沖縄グループのメンバーにとっては初めてのイベントで、初めて大勢の人前で話をすることは本当に勇気がいったことです。テーマに沿わないスピーカーで、何をしゃべったかわからない。でもみんなしゃべり出したら止まらない。時間のコントロール

も狂っている。本土からきてくれた仲間たちは沖縄の方言にびっくりしたのでは。

2日間終わってみて、みんな口にしたのは、「最高だったなあ - 」とか「良かったなあ - 」とゆう気持ちと、これを機会に今年の秋にはオープン・ミーティングをやろうとか、ステップ・セミナーをやろうとか、それぐらいいすばらしいイベントが開けました。

沖縄にグループができて7年目にしてやっとスタート地点に立っているんだと気づいたとき、また今日一日が始まるんだなあと思うのでした。

あの、どうしようもなかったアル中たちが集まると不思議なパワーが生まれ、何でもできることを、グループのみんなで分かち合いました。

今グループは、小さな火だけれど、メンバーの一人一人が12ステップの実践と12の伝統を守り、行動しようと熱く燃えています。

最後に、いろいろな資料を提供してくれた方々や会場を提供してくれた方々、また、全国から来てくれて手伝って助けてくれた仲間の方々に心から感謝しております。

この原稿が全国にたどり着くころには、メンバーも増えて、新しいグループができているかも。だってわたしたちが知っているハイヤーパワーは「求められればそうしてくださる」のだから。やっぱりでてる言葉と気持ちは、感謝と今日一日を大切に、です。

神様、わたしにお与えください。自分に変えられないものを受け入れる落ち着きを。変えられるものは変えてゆく勇気を。そして二つのものを見分ける賢さを。

どうもありがとうございました。

沖縄グループより

### 盛況だったQ & A コーナー

「誰かが、どこかで助けを求めたら、必ずそこにAAの(愛の)手があるようにしたい」。今回、沖縄でパブリック・ミーティングが開催されたのは、わたしたち一人一人の「責任」が、点から線へ、線から絆へと広がっていくためのものだった。ここでは、そのプログラムのなかの「Q & A コーナー」について紹介し

たい。

その前に、まずは、会場の雰囲気からお伝えしたい。

受付には、AAの書籍がズラリと並び、コーヒーの香りがプーンと漂う会場の正面には、大きな手書きの文字で書かれたAAのステップと伝統が堂々と張られ、万端整えられている。これらのセッティングはすべて、沖縄のメンバーによって準備された。関係者に案内状は送付してあるものの、果たしてどのくらい出席して下さるのかという、JSOのスタッフの心配

をよそに、広い分野(病院、保健所、精神保健センター、役場、福祉大学学生、家族の方たち)の方々の参加でプログラムがスタートした。

一日目は、AAグループの運営、行政・医療分野との関係などを焦点に話をし、モデル・ミーティングでAAのミーティングを実感していただき、二日目は、AAの核心であるステップと伝統について分かち合い、両日とも最後に「Q & A」を行った。

関係者から特に関心を持たれたのは、第4、第5ステップについて、ハイパーパワーについて、スポンサーシップについて、といった、回復、成長に欠くことのできないAAのプログラムの本質に関する項目と、さらに、専門家として本人にどのような援助ができるのか、AAメンバーとの接触や協力はどうしたらよいのか、といった、質問が主軸であった。

今回のパブリック・ミーティングで自分の回復の話をした地元沖縄のメンバーが、その話のなかで第4、第5ステップのことに触れたことに関連して、これらのステップをすることで、メンバーの生き方はどのように変わっていくのか、また、どのくらいの時期にすることが、回復、成長に役立つのか、などの、かなり具体的な質問が出された。

ハイパーパワーについては、多くのメンバーが自分で理解している神について話し、決してAAのハイパーパワーが一つの決まった神概念ではないことが、分

かち合われた。

スポンサーシップについてはどこの会場でも質問が多く出されるが、社会一般でいうスポンサーとAAのスポンサーとの違いは何なのか、といった疑問に対し、AAのメンバーシップのなかでスポンサーが果たす役割として飲まない経験をお互いに分かち合うことが、スポンサーをする側にとっても、される側にとっても、その回復、成長にどれほど役立つかが、暖かい雰囲気の中で伝えられた。また、第五ステップを話す相手としてのスポンサーについて、パネラーや会場のメンバーたちが、それぞれ自分の立場でその経験を話した。さらに、グループのスポンサーシップについても、それがグループのサービスにとって大切であることが分かち合われた。

充実した話し合いが進むなかで、最終プログラムでは、専門家のかたが一人一人にAAのプログラムの手ごたえを感じていただき、「わたしたちにできる援助は?」「AAメンバーとの連絡方法は?」

「相談に訪れて来た人をAAミーティングにつなげるには?」「施設内でわたしたちがミーティングを開くには?」といった積極的な質問が多く出された。

プログラムの合間の休憩時間にも、熱心にJSOのスタッフに質問する姿もみられ、活気に満ちあふれたパブリック・ミーティングであった。

今井

## 沖縄の英語グループに参加して

もう10年近く前に沖縄の米軍にあるAAがラウンドアップを開くことを知って、参加することは実現しなかったが、関心はもちつづけていた。

今回、沖縄のAAが飛躍のための小さな足掛かりを掴めればという願いをこめて開かれた、AA沖縄ワークショップに、沖縄グループの輪を大きく、力強くするためにも、英語グループの方々の参加もさそってみた。

第1日目、日本語を喋れるアメリカ人が参加してくれた。熱心に聞いてくれていたし、話す機会はなかったけれども、モデルミーティングにも参加してもらった。全国広しと言えども、本邦で最初だろうと思います。

関係者とのQ & Aの時に、過去、熱心なアメリカ人が、われわれ日本人にメッセージを運ぶために、きちんとした通訳を伴って、本格的なミーティングを、この度も会場を提供してくれた、沖縄県精神保健センターで開いたことがあることを、センターの先生が教えてくれた。継続はしなかったそうだけれども、その時の足跡は今生きていると思うし、先人の熱意の継続があったから、今、日本にAAがあると思う。

沖縄には、東洋有数の嘉手納基地があり、ラウンドアップも年2回、200人前後の参加者をむかえて開かれているということだったが、その基地の外にある、AAミーティングに、夜、沖縄の仲間2人と出掛けた。

それはビッグブックミーティングだった。かれらのそれは面白い。表紙の最初の部分から、最後の最後までを、少しずつ順番に読んで行く。適当なところで、テーマをだして、話をし聞くことをする。最初に序文を読み、順番に、例の、「アルコール中毒の誰々です」と名乗っていった。もう何年もAAにいるのに、この時初めて、この名乗る事が、単なる習慣ではなくて、クローズドミーティングであることの確認をする大切な部分であることを知った。

聞くとところによると、日本には、千人もの英語を話すAAメンバーがいるという。1995年3月に開かれる、AA日本20周年記念集会在、世界AAの輪の中で開かれるように、これから益々、言語の壁を越えていければと願ってこの小文を記してみた。

JSO 林

# となりの国のAAから

## 韓国 AA



韓国のインターグループ・オフィスがソウルの中心部にある市庁舎のすぐそばに移転しました。ミーティングはほとんど毎晩ここで行われていますし、スタッフも常駐しています。日本のAAメンバーの皆様もぜひお越しください。

昨年こちらで開かれた第一回コンベンションのさいの皆様の支援には、心からお礼申し上げます。今年も第二回コンベンションを10月15日～17日に予定

しています。今回はソウルからも比較的近いスキーリゾートで、バスも5分毎にでている便利な所です。プログラムもあれこれ考えています。よろしかったら、日本の皆様も独自にプログラムを組んでいただけたら、と思っています。

たくさんのかたがたの参加を心からお待ち申し上げます。

新しい電話番号は：02 - 774 - 3797です。

### AA日本20周年記念集会実行委員会からのお知らせ

AA日本20周年記念集会の会場が、大宮ソニックシティに、日時が1995年3月24日(金)25日(土)26日(日)の三日間に決定しました。会場は国際会議場としても非常に著名な場所で、設備の充実はいうまでもありません。交通の便はJR大宮駅の西口に隣接し、雨が降っても傘が要らないという至便な場所です。

実行委員会もこの決定に力を得て、委員長会議、全体集会を開催し、会場に負けないプログラム作りと、できるだけ多くの人に参加してもらえ“ひきつける魅力”作りに専念しています。

テーマ、ポスターの公募は8月末日となっていますが、メンバーの一人一人がこの集会に参画するという意欲で奮っての応募をお待ちしています。



### JSOオフィス幹事会より

- 4月、5月の幹事会では下記のことを話し合った。
1. 秋のオフィス幹事公選システムのアンケート案を検討し、決定した。5月末をまって結果を集計し、第5回GSMに報告して討議し、システムを決定する。
  2. JSO職員の就業規則はすでにオフィス幹事会で、大綱を決定しているが、年次有給休暇の部分

- だけ4月をもって、始動させる。
3. 間接的にバックアップしてきた、AAプログラムQ&Aの今後について、関東地域委員会に相談することにした。
  4. 前期WSM評議員の選挙について話し合った。
  5. 20周年の会場について、専門の業者にも声をかけてみることにした。



JSOではAAのサービスマークの特許庁への登録申請をAA WORLD SERVICE INCの名義で9月30日に済ませました。審査には1～2年かかりますが、左記マークを機会を捉えてご使用下さい。